

2級 実技(論述)試験 解答用紙

想定ケース(68)

「逐語記録」を読み、以下の問いに答えなさい。

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。(20点)

相談者はソフトウェア販売会社で約15年営業として勤務していたが、6月から総務への異動の打診を受け、何をしたらいいかわからないと不安に悩んでいる。異動の細かい話は聞いていない。現在の上司と合わないと感じてはいたが、営業は自分には向いており、商品への愛着もある。営業は社内では出世コースだが、総務は入社時お世話になった先輩が一人で回っており、仕事ができな人が最後に流れつく場所と考えている。異動の話は、言佳にもしてほしい。

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ。(20点)

相談者は、現在の取組場の上司と合わないと感じたり、異動について周囲に話をしていないことなどからコミュニケーション不足が考えられる。また、総務の仕事内容について、仕事できない人が最後に流れつく場所、仕事が遅いと思っており、仕事理解不足も推察される。今までの営業での経験で総務でいかせることは難しいか、今回の異動で期待される役割は何かなどは考えていない可能性があり、自己理解不足と見受けられる。

問3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標をおいて、

②どういうことを実施したいか。目標と具体的な方策を記述せよ。(60点)

- ①(目標) (1) 総務に異動したらどのような仕事をするのか、営業に残る場合はどうなるか等考え、異動の打診の回答について主体的に自己決定できることを目指す。(2) ライフプランを見据えた中、長期的なキャリアプランについて、できるだけ明確にすることを目標とする。
- ②(方策) (1) 異動の打診を受け、どうしたらいいかわからないという不安な気持ちを受容し、今までの約15年商品への愛着を持ちながら営業として頑張ってきたことを認め、信頼関係を構築する。(2) 短期的な視点としては、①総務部で頑張っている先輩などに、総務部での仕事内容や、もし自分が異動したらどのような役割を求められるかなど情報収集を促す。②人事部に異動の打診の回答期限、打診を断り営業に残ることはできるか等確認する。(3) 中長期的な視点としては、①キャリアシートなどで経歴の振り返りを共にを行い、自分の強みやスキルを確認する。②営業の商品知識、現場を知っていることが総務でいかせやすいか一緒に考える。③5年後、10年後などの働いている姿をライフプランも考慮しながら具体的にイメージできるように話し合う。(4) 以上の方策を実施できるよう、継続的に支援する。

注: 解答は設問ごとに、枠内に記述してください。裏面および枠外に記述されたものは採点されません。